

5. 第2回三鷹地区検討会

5. 第2回三鷹地区検討会

5-1 第2回三鷹地区検討会の振り返り

(1) 第2回三鷹地区検討会の開催概要

開催状況報告(速報)中央ジャンクション三鷹地区検討会

速報 中央ジャンクション三鷹地区検討会が終了しました

9月27日(土)、28日(日)に、第2回中央ジャンクション三鷹地区検討会が開催され全4日間のプログラムが終了しました。

日	時	平成20年9月27日(土)	13:00~17:00
		28日(日)	10:00~17:00
場	所	三鷹市立北野小学校	
参加者数	27日 地区検討会	67名	(メンバー登録119名)
	28日 地区検討会	64名	(メンバー登録119名)



(写真1) グループに分かれて話し合いを行いました

第2回三鷹地区検討会は、2日間にわたり三鷹市立北野小学校で行われました。まず、第1回のお話し合いの結果について報告された後、主催者などから話し合いの参考となる事例等の紹介が行われ、交通・環境・まちづくりで心配なことへの対策、まちづくりに期待することをテーマとした話し合いがグループに分かれて行われました。

話し合いの結果、「ジャンクションの蓋かけ」「代替農地・都市型農業」及び「周辺都市計画道路の整備」等に関するアイデアや、計画検討の進め方に対する意見などが発表されました。

地区検討会メンバーの皆様におかれましては、ご多忙の中、ご参加頂きまして誠にありがとうございました。



(写真2) 進士五十八座長より「まちづくりに期待すること」に関し様々な事例など情報提供をしていただきました。



(写真3) 各グループの発表係が発表を行いました



(写真4) 各グループの意見に対し、投票を行いました

中央・三鷹

※東京外かく環状道路調査事務所ホームページにも掲載

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>

(2) 第2回三鷹地区検討会の結果（総括）

第1回三鷹地区検討会の結果とりまとめと同様に、参加者の皆さんに出して頂いたそのままの意見を客観的に整理し、シール投票結果を定量的に分析して結果のとりまとめを行いました。3つの話し合いテーマについて、それぞれ次の傾向が見られました。

第1回話し合いテーマ「交通、環境などで心配なことへの対策」

- 話し合いの結果から、“まとめた意見”を第1回検討会と同様に「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」に大分類を行った。
- 「交通」への関心が最も高く、その中でも「幹線交通」や「地区交通」については、多くのグループから意見が出され、関心が高くなっている。この中で、「東八接続(ループ式、井の頭線、踏切立体等)」という意見に多くの投票があった。
- 「まちづくり」については、「土地利用」に関する関心が高く、「蓋かけ部分に農地、市民農園、産直センター等を作る。」という意見に投票が多かった。
- その他シール投票の傾向で分析した項目以外では、「環境」については、「地下水」に関する意見が多く、「地下水対策に関する専門部署をつくる」という意見に投票が多い。また、「工事中への交通への影響」に関する「中央道に工事用インターを作る。工事車両は地域を通らせない」、「用地・補償等」に関する「事業確定前に代替農地を確保できる法律改正」、「計画検討全般」に関しては「不測の事態があったときは、計画中止の決断をする」などの意見に投票が多かった。
- 交通、環境に関する“残したい意見”として、「自転車道の整備」や「電気自動車の普及」などの意見が出されていた。

第2回話し合いテーマ「まちづくりで心配なことへの対策」

- “まとめた意見”を第1回話し合いの結果から分類した「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」の大分類項目に従い整理をした。
- 「まちづくり」の意見としては、「土地利用」に関するものが多く、複数のグループから蓋かけ部分の利活用に関する意見が出されていた。また、「まちづくり全般」や「地域分断」への関心も高く、「都市型農業モデル地区としての象徴的な利用(市民農業直売センター、農家による指導)」や「地域住民の意見を最優先にしたコミュニティ」などの意見に対して投票が多かった。

- シール投票の傾向で分析した項目以外では、「計画検討の進め方」に関して「計画の根本的見直しを(町づくりでなく町こわした)」、「三鷹市独自の予測データを出し、市民に周知する」などの意見に投票が多かった。
- まちづくりに関する“残したい意見”として、「まちづくり全般」や「土地利用」などについて、複数のグループから意見が出されていた。

第3回話し合いテーマ

「外かく環状道路中央ジャンクションができることでまちづくりに期待すること」

- “まとめた意見”を「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」の大分類項目に従い整理をした。
- 「まちづくり」に関する意見として、「土地利用」に関するものが最も多く、「ふた掛け部の有効利用」や「公園化」に関して複数のグループから意見が出されていた。特に、「コミュニティ運営する温泉を作る(三鷹ジャンクセン)」という意見に投票が多かった。
- 「まちづくり全般」に関する意見としては、三鷹市らしさの創出を期待する具体的なアイデアが出されていた。
- 「計画検討の進め方」の意見として、「計画検討全般」に関しては、「計画を変更・中止する勇気を持つ」という意見に投票が多かった。
- “残したい意見”では、「発案が難しい」としながらも、当該計画地を愛着のもてる場所としたいという意見が出されていた。

※1 詳細は、巻末の「ワークシートデータ」をご参照下さい。

※2 ご意見については、シール投票において20票以上あったものを掲載しています。

(1) シール投票結果

シール投票の傾向

■ 幹線交通に関する意見	: 98票
■ 地区交通に関する意見	: 71票
■ 土地利用に関する意見	: 67票

(2) “まとめた意見”の傾向と分析(再掲)

- 話し合いの結果から、“まとめた意見”を第1回検討会と同様に「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」に大分類を行った。
- 「交通」への関心が最も高く、その中でも「幹線交通」や「地区交通」については、多くのグループから意見が出され、関心が高くなっている。この中で、「東八接続(ルーフ式、井の頭線、踏切立体等)」という意見に多くの投票があった。
- 「まちづくり」については、「土地利用」に関する関心が高く、「蓋かけ部分に農地、市民農園、産直センター等を作る。」という意見に投票が多かった。
- その他シール投票の傾向で分析した項目以外では、「環境」については、「地下水」に関する意見が多く、「地下水対策に関する専門部署をつくる」という意見に投票が多い。また、「工事中への交通への影響」に関する「中央道に工事用インターを作る。工事車両は地域を通らせない」、「用地・補償等」に関する「事業確定前に代替農地を確保できる法律改正」、「計画検討全般」に関しては「不測の事態があったときは計画中止の決断をする」などの意見に投票が多かった。
- 交通、環境に関する“残したい意見”として、「自転車道の整備」や「電気自動車の普及」などの意見が出されていた。

※1 詳細は、巻末の「ワークシートデータ」をご参照下さい。

※2 ご意見については、シール投票において20票以上あったものを掲載しています。

(3) “まとめた意見” の集計結果および一例

話し合いの結果		得票数(票)		得票率%		ご意見の列
交通	地区交通	71	188	14%	38%	生活道路の確保のために ・ジャンクションのふたがけを実施する ・環状道路 など
	幹線交通	98		20%		東川接続(ループ式、井の頭線踏込立体他) など
	広域交通	19		4%		中央高速道路高井戸の下り線を必ず整備する
環境	大気質	29	94	6%	19%	換気ではNOxとSPMを最新の設備で除去すること など
	地下水	60		12%		地下水対策に関する専門層をつくる など
	環境一般	5		1%		インターチェンジ周辺の環境対策 など
まちづくり	まちづくり全般	7	74	1%	15%	三鷹のコミュニティFM局を作って交通情報を提供して欲しい
	土地利用	67		14%		蓋かけ増分に農地、市民農園、産直センター等を作る など
安全・安心	交通安全・治安	8	13	2%	3%	安全確保のための交番自衛、照明を増やす
	災害・事故時の対応	5		1%		利便性の高い有効活用(緊急時対策として)
工事中	工事中の交通への影響	36	47	7%	9%	中央道に工事用インターを作る。工事車両は地味を通らせない など
	工事中の環境への影響	7		1%		工事中の地下水の変化を監視 など
	工事中の安全性	4		1%		トンネル(工事)における過去の事故事例を調査・検証する
用地補償	用地・補償等	30	30	6%	6%	事業確定前に代替農地を確保できる法律改正 など
計画進捗 め検討 方討	計画策定全般	29	51	6%	10%	不測の事態があったときは、計画中止の決断をする
	情報の提供	22		4%		地下水、大気汚染、交通予測など 更にご精緻なデータを示し市民への説明の機会を増やして欲しい など
		総計497		100%		

(4) 集計表

第1回話し合いテーマ

「交通、環境などで心配なことへの対策」（得票総計=497票）

【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●交通			188	38%
まとめた意見	地区交通		71	14%
	生活道路の確保のために ・ジャンクションのふたがけや実施をする・環状道路 【グループ4】	12		
	蓋掛けの範囲を広くする（生活道路、通学道路） 【グループ12】	11		
	迂回道路通行量増への制御対策として自転車専用レーンの 設置（ゴミ対策、駐停車禁止） 【グループ15】	11		
	人・自転車道の設置（工事中も） 【グループ8】	10		
	生活道路問題 コミュニティバス等による交通ネットワー クの確立 生活道路の整備（工事中を含めて） 【グループ13】	9		
	生活道路の確保（人、車）特に子供（スクールバス？） 【グループ3】	6		
	交通：生活道路分断対策として（側道を作る） 【グループ11】	6		
	通学路、生活道路を工事中、完成後も確保する 【グルー プ14】	5		
	現状に準ずる道路を確保する 【グループ1】	1		
	幹線交通		98	20%
	東八接続（ループ式、井の頭線、踏切立体他） 【グループ8】	22		
	周辺道路の整備を先行して行う 【グループ6】	18		
	東ハインターの混雑解消のために中央道高井戸ランプの下 り入り口の設置 【グループ9】	17		
	東ハインターの車の出入りの制限ができること コントロールセンターを設置する 【グループ14】	10		
	三鷹3・4・11号を吉祥寺通りに接続 【グループ8】	7		
	交通渋滞緩和（アクセス道路の完成、規制の見直し） 【グループ12】	7		
	（三鷹3.4.11）と吉祥寺通りを連結する 【グループ2】	6		
	IC周辺で道路整備・交通規制の徹底 【グループ4】	5		
	計画道路の先行整備（東八等） 【グループ9】	5		
交通：交通集中対策として整備（横断歩道、信号、自転 車、中央道下をオープンに、有効活用） 【グループ11】	1			
広域交通		19	4%	
中央高速道路高井戸の下り線を必ず整備する 【グループ14】	19			
残したい意見	自転車道路の整備 【グループ6】			
側道沿に新交通システムを開発する。【グループ9】				
高井戸IC下り口を作り、東八への集中を防ぐ 【グループ13】				
吉祥寺通りを必ずつないで下さい 【グループ14】				

第1回話し合いテーマ

「交通、環境などで心配なことへの対策」（得票総計=497票）

【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●環境			94	19%
まとめた意見	大気質		29	6%
	換気ではNOxとSPMを最新の設備で除去すること【グループ14】	12		
	排気塔（脱硝設備をつけ、高さを高くする）【グループ12】	5		
	換気所の集じん設備を高機能に【グループ6】	4		
	環境：換気塔の分散（大気測定の継続）【グループ11】	3		
	換気能力を最新状態に保つ【グループ4】	2		
	換気所から出る空気をクリアーにしてから出すシステム作り【グループ9】	2		
	最新の技術を導入して大気環境変化を防ぐ【グループ1】	1		
	地下水		60	12%
	地下水対策に関する専門部署をつくる【グループ1】	24		
	環境：水源汚染対策として（水質測定継続、汚染された場合の水源の確保。）【グループ11】	12		
	三鷹の水道環境、地下水の調査【グループ2】	10		
	現地での地下水への影響への調査【グループ4】	7		
	地下水の確保（外環道を渡る）【グループ12】	4		
	地下水問題（工事前・中・後に関わらず環境の情報開示）			
	地下水が枯渇した場合は別の取水地を作る。地下水汚染防止の対策はない【グループ13】	3		
	地下水対策が思いつかないが(?)【グループ8】	0		
	環境一般		5	1%
	インターチェンジ周辺の環境対策【グループ7】	3		
	環境対策適合車のみ通行させる(交通制限)【グループ1】	2		
環境対策（防音壁を作る、緑地化）【グループ3】	0			
地下水、CO2、等の対策【グループ7】	0			
残したい意見	シミュレーションルームを作り体験したい（大気汚染）（そう音）（水）（白いTシャツほしてみる）（魚を育ててみる／酒をつくってみる）とか【グループ3】			
	玉川上水の緑を守る方法を考える【グループ6】			
	42項目の全てを守る【グループ7】			
	2ヶ所の換気所は、必要なのか【グループ7】			
	換気塔、避難路をいくつも作る【グループ8】			
	電気自動車を増す（料金体系無料化等）【グループ9】			

第1回話し合いテーマ

「交通、環境などで心配なことへの対策」（得票総計=497票）

【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●まちづくり			74	15%
まとめた意見	まちづくり全般		7	1%
	三鷹のコミュニティFM局を作って交通情報を提供して欲しい 【グループ2】	7		
	土地利用		67	14%
	蓋かけ部分に農地、市民農園、産直センター等を作る 【グループ14】	21		
	道路部分の全面、蓋掛け 【グループ7】	13		
	土地利用の制限は地元住民と十分に検討する 【グループ2】	9		
	ふたかけの部分を東八道路まで 【グループ2】	6		
	可能な限りフタカケを行い、上部を有効利用 【グループ6】	5		
	東八IC付近の特別用途規制の実施 【グループ12】	5		
有効活用（児童広場、保育園等作る） 【グループ3】	4			
フタ掛け部は緑地が主体 【グループ8】	4			
残したい意見	三日月地域を公園にして、中央道を渡るトンネルをつける 【グループ12】			
	掘削した土は中央道を使って排出して下さい 【グループ14】			
	安全のため交番やスクールエンジェルをふやすこと 【グループ14】			
●安全・安心			13	3%
まとめた意見	安全・治安		8	2%
	安全確保のための交番追加、照明を増やす 【グループ3】	8		
	災害・事故時の対応		5	1%
	利便性の高い有効活用（緊急時対策として） 【グループ15】	5		
	避難道路の確保、非常アナウンスの確保 【グループ3】	0		
●工事中			47	9%
まとめた意見	工事中の交通への影響		36	7%
	中央道に工事用インターを作る。工事車両は地域を通らせない 【グループ13】	22		
	工事中の交通対策 ・工事車両を中央道から入れる ・生活道路と農道の仮設確保 【グループ6】	7		
	工事中の生活道路確保のため現在の住民の移動動線の調査を実施 【グループ9】	6		
	工事中の諸問題（渋滞、騒音など） 【グループ7】	1		
	工事中の環境への影響		7	1%
	工事中の地下水の変化を監視 【グループ6】	6		
	工事の地域への影響を小さくする為、工期・工事区間を分割する 【グループ13】	1		
	工事中の安全性		4	1%
	トンネル（工事）における過去の事故事例を調査・検証する 【グループ1】	4		
残したい意見	工事中の子どもたちの交通、大気汚染に十分配慮する 【グループ2】			
	夜間工事をさげる 【グループ12】			

第1回話し合いテーマ

「交通、環境などで心配なことへの対策」（得票総計=497票）

【 】内はグループ名を表す。

対策や期待することに対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●用地・補償			30	6%
まとめた意見	用地・補償等		30	6%
	事業確定前に代替農地を確保できる法律改正 【グループ9】	25		
	農地の保全 【グループ7】	5		
●計画検討の進め方			51	10%
まとめた意見	計画検討全般		29	6%
	不測の事態があったときは、計画中止の決断をする 【グループ4】	29		
	情報の提供		22	4%
	地下水、大気汚染、交通予測など 更に精緻なデータを示し市民への説明の機会を増やして欲しい【グループ15】 市民の情報提供の求めに correspond してもらおう 【グループ13】	19	3	
残したい意見	心配なことがなくなる限りの事業化しない 【グループ1】			
	ふたがけの可能な位置を明確にしてほしい 【グループ3】			
	将来予想の不確実性 【グループ7】			
	行政区を超え（世田谷・調布）連携を 【グループ8】 作るなら最後までつくれ！（財源問題などで途中でストップするな） 【グループ13】			